

緑化だより

No.51 平成22年6月号



カルミア 平成20年5月31日 多目的広場にて撮影

【お知らせ】6月は、緑化センターの休園日は毎週月曜日です。

- きのこユーモラスネーミング
- 庭木の手入れ
- 花だより

- 研修会・イベント報告
- 研修会・イベント紹介
- お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



きのこユーモラスネーミング

外国編(3) 『Old man of the woods 森の老人』

きのこの名前は、世界共通の学名と各国で異なった名前(日本では和名と言われる)と2通りあります。その他日本では方言名もありますが、4月から外国(欧米)で使われているユーモラスな英名をとりあげています。

“森の老人”と呼ばれているキノコは日本ではオニイグチのことです。キノコが灰黒色であり目立たないことから、欧米では森に住んでいる老人という穏やかなイメージのようですが、日本では“鬼”という怖いイメージになっています。傘の表面にある尖った突起を鬼の角になぞらえて命名されています。

肉を傷つけると鬼が怒って赤くなるがごとく赤変し、その後黒変します。

外見からはいかにも食べられそうにないように見えるのですが、食用になるのです。でも傷みが早いので食用になるものは比較的少ないようです。茹でて水にさらした後、わさび和えにすると美味しいです。

夏～秋、アカマツ・コナラ林などの地上に発生します。



オニイグチ

庭木の手入れ

『6月の手入れ』

6月は5月に続いて、花物の剪定と病害虫の予防や駆除に必要な月です。今年、花芽を分化して来年に咲く木で、樹木の先端に花をつけるツツジ類は特に注意が必要です。

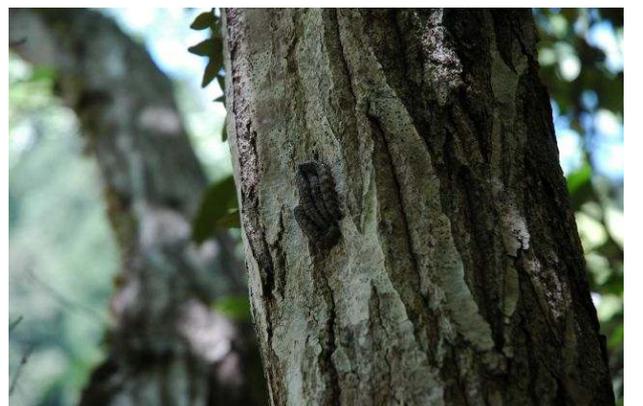
ツツジ類は花芽が出来上がるのが花後一ヶ月程度ですから、剪定はできれば6月一杯で終わらせることが大事です。注意しなければならないのは夏以降に剪定しないことです。これをするると来年花が少なくなります。

フジの剪定は、花芽のすぐ上を切り取ることで翌年の花芽の分化が進みます。昔から「檜芽三寸」といい、カシの新芽の伸びが止まったところが、常緑樹の剪定の適期とされています。垣根などは、思い切った刈り込みが可能です。込み合った枝を抜いて風通しを良くすることも、樹木の活性に役立ちます。

病害虫は、いよいよ本格的に活動を始める時期になりました。ことにアブラムシとカイガラムシの害が目立ち始めます。そのほか、ブランコケムシ(マイマイガ)やチャドクガが活動を始めます。シャクトリ虫や穿孔虫も活動します。病気や害虫は見つけ次第、薬剤を散布するようにしましょう。薬剤散布に当たっては、薬剤使用基準をよく読んで作業するようにしましょう。



穿孔虫が侵入したと見られるケヤキ



幹に集まったケムシ

花だより

マタタビの仲間 マタタビ科マタタビ属

私たち人間は、自然の恵みという形で、様々な果実を食用や薬用に利用していますが、マタタビの仲間もその内の一つです。マタタビの和名は、長旅で疲れた旅人がこの果実を食べ、疲れをとってまた旅に出たことによるという説があります。果実は、塩漬けや果実酒に利用するほか、タマバエ科の昆虫が寄生してできた虫こぶは、木天蓼(もくてんりょう)という生薬として利用され、冷え性・神経痛・リウマチなどに効果があるとされています。

別名オニマタタビ・シナサルナシと言われているキウイフルーツ(中国原産)は実を食用やジャムとして利用していますし、キウイフルーツ以上に美味とも言われているサルナシも果実を食用にするほか果実酒にも利用されています。サルナシのツルは炭俵・筏つなぎ・蔓橋の材料などに使われてきました。

緑化センターの過去の資料を見ると、センター内でサルナシを確認したという記録があるのですが、まだ確認できていません。サルナシかと思われた種は、ウラジロマタタビでサルナシの変種になります。ウラジロマタタビはその名のとおり、葉裏が粉白色を帯びています。

緑化センターでは6月中旬ごろ、林縁で白く変色した葉が見られます。さて、マタタビは花が咲く時期に合わせて、葉が白くなることはよく知られています。これは、昆虫類に花が咲いたことをアピールしているとも言われています。また、「ネコにマタタビ」と言われるように、ネコやネコ科の動物が好み、ネコにマタタビの葉や実を与えると、噛んだ後に酔っ払ったような興奮作用を示します。ネコにも薬用の効果があるようで、元気がなく食欲がないネコなどにマタタビを与えると元気になると言われていますが、あまり多量に与えると呼吸麻痺を起こすことがあるほか、その効果も個体差があるようなので、試される場合はくれぐれも慎重に。



マタタビの花



マタタビの白変した葉



マタタビの果実(下) 上:虫こぶ

研修会・イベント報告

『5月の研修会とイベントは下記の通りです』

- 5月 8日(土)「獣害対策について」 講師 山崎 亘 (センター職員)
- 5月 14日(金)「5の自然探勝」 講師 石橋 昇 (広島大学名誉教授)
- 5月 20日(木)「晩春の写真教室」 講師 大藤 哲己 (写真家)
- 5月 22日(土)「早春探鳥会」 講師 吉見 良一 (日鳥連会員)
- 5月 23日(日)「晩春のきのこ観察会」 講師 川上 嘉章 (きのこアドバイザー)
- 5月 25日(火)「晩春の自然探勝」 講師 吉野由紀夫 (環境省希少野生動植物推進委員)
- 5月 27日(木)「庭木の病虫害対策について」 講師 岡田 剛 (樹木医)

(敬称略)

研修会・イベント紹介

6月6日(日) **ひろしま「山の日」県民の集い(サテライト会場)**
記念植樹・イベント(詳細別紙) 10:00~15:00 レストハウス前
登石バス停より森林公園経由で無料シャトルバス運行(9:30~15:30)
臨時駐車場有(多目的広場) **【少雨決行】**

6月11日(金) **「6月の自然探勝」** 10:00~12:00 管理事務所前集合
6月の樹木や花を観察しよう
講師:広島大学名誉教授 石橋 昇 先生

6月12日(土) **「庭木の手入れについて」** 10:00~12:00 学習室集合
庭木の気になるところはありませんか。庭木の手入れのコツを覚えて手入れに役立ててください。質問も受付ています。
講師:樹木医 工藤 徹 先生

6月20日(日) **「初夏のきのご観察会」** 10:00~12:00
管理事務所前集合
園内の散策路を歩きながら、きのご観察を行います。きこの名前や特徴を覚えたい方、質問も受付ていますので是非ご参加下さい。
講師:きのアドバイザー 川上 嘉章 先生

6月23日(水) **「初夏の植物を見て歩こう」** 10:00~12:00
管理事務所前集合
初夏に咲く花を中心に植物観察をしながら園内を散策します。
質問も受付ています。
講師:森林インストラクター 駄賀 恒男 先生

6月27日(日) **「初夏の写真教室」** 10:00~12:00 学習室集合
写真コンクール公開審査と講評を行います。
講師:二科会会友 宗岡 泰昭 先生



「6月の自然探勝」状況



「庭木の手入れ研修」状況



「写真教室公開審査」状況

平成21年「山の日」の写真(開会式・丸太切り・スタンプラリー)



♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ **展示会のお知らせ** 展示場所:レストハウス

○ **夏のバードカービング展** 5月13日(木)~7月4日(日)

野鳥の様々な瞬間を野鳥愛好家が木彫りにしています。野鳥の姿をお楽しみ下さい。

○ **毒きのご写真展** 6月3日(木)~6月27日(日)

約30種の毒きこの写真を展示します。見たいと思っても見られない、毒きこの写真を是非一度ご覧下さい。

○ **さつきの盆栽展**

東区の大田勇喜氏の作品で「さつきの盆栽」を展示していますので、ご覧下さい。

また、管理事務所前には、40年余りをかけて作られた貴重な作品も展示しています。